



こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー

Rotary International

週報

— さあ、今こそ我等の出番だ —

2011~2012 年度 会長 濱仲 幸弘

Vol46 No.16 平成 23 年 11 月 1 日

Vol46 No.17 平成 23 年 11 月 6 日

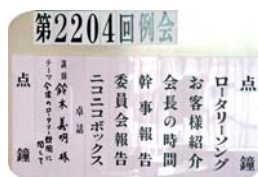


国際ロータリー第 2750 地区多摩中グループ

東京国分寺ロータリークラブ

第2204回 例会 報告 — 11 月 1 日 —

本日の司会



照木 SAA 委員長



国家斉唱

○ソングリーダー: 高相会員

『君が代』



ロータリーソング

『奉仕の理想』

四つのテストの唱和

お客様紹介

濱仲 会長

○鈴木義明様(東京武蔵国分寺RC・ロータリー財団委員会委員長)

○渡邊博孝様(東京武蔵国分寺RC) ○清水玉江様

会長の時間

濱仲 会長

今日から11月ということで、今年も残り少なくなってきました。とはいえ、今年は少なくとも、今年度はまだまだ残っています。気を引き締めて、臨みたいと思っています。さて、11月は「ロータリー財団月間」と



ということで、本日の卓話の講師として、地区ロータリー財団委員長である鈴木義明様をお迎えしています。因みに、先月10月は「職業奉仕・米山月間」でしたので、予算書にあるように、普通寄付として1人¥5,000、クラブとして¥210,000の寄付をする予定です。また、特別寄付として予算10万円を地区に報告しましたが、これは恒例として会長が寄付しているようですので、私が出しておきました。お陰様で、この後米山功労者の感謝状がいただけるようです。クラブにとって、主要(定期的)な寄付行為というのは、米山奨学生とRC財団なのですが、どちらも金を取られるだけ

という意識からいえば、区別が付かないと思います。今日はロータリー財団の方でありまして、後ほど鈴木委員長からしっかりした説明があると思います。今年度の「クラブ概況及び事業計画書」の33ページに、木口委員長が書かれた分かりやすい財団プログラム委員会の説明が載っています。これを参照すれば、①ロータリー財団の役割、②RC財団のプログラム、③RC財団への寄付方法、④今年度の活動目標、を素早く理解できると思います。RC財団には会長として\$1,000寄付をしたのですが、RC財団月間にあわせて事務局から振り込まれます。会長は辛いものです。まあ、円高ですので、今なら思っていた以上の寄付が達成できるのではないのでしょうか。もし、関心がある方、そろそろ自分の立場を考えられる方は、寄付の方向で動いていただければと思います。話は変わりますが、PETSなどでRC財団委員会のプレゼンテーションの最後に、ロータリーカードのPRがあります。参加者の反応がいまいちなので、人気がないのだろうと思っていますが、結局ロータリーゴールドカードというのを作ってしまいました。これも年会費の一部と利用金額の一部がRC財団に寄付されるはずですが、国分寺RCでは誰も作った人がいなかったの、カード所持者ゼロの名簿から国分寺RCを外すためにカードを作ったわけです。来年は解約かな?と思いながらも、しばらくは財布の飾りとしておきます。RC会長というのは、色々としがらみがありますね。次回例会、11月6日(日)は国分寺まつりに参加します。楽しく市民まつりを盛り上げていきたいと思っています。ふるってご出席ください。

退会式

○記念品の贈呈 濱仲会長から清水会員へ

○退会挨拶: 清水会員

約7年前の入会の挨拶のマイクを持った時は、とても声が震えていたことを、覚えております。どうにか慣れて来ましたが、ここでお別れするのが残念ですけれども、ボランティアと云う仕事から引かせて頂きます。まだ、長女の方が武蔵国分寺RCさんからお受けしましたブラジルからの留学生をお預かりしております。



まだ、あと1ヶ月は私のもとにありますが、これでボランティアを終わらせて頂きます。皆様、親切にして頂きとても有り難く、御礼もうしあげます。今まで、ロータリーはどうだったかと聞かれたら、「楽しかった」とその一言です。ロータリーは世界に広がっているボランティアであることが好きでした。お陰さまで、世界大会に行き大勢の方に触れ合ったこと、主人と共に沢山の国に行かせて貰いましたが、パリやドイツでメイクアップしたことがあります、何処でも歓迎され、ロータリーは世界に通じるボランティア団体だからこそと思われました。日本国内でもあちこちでメイクアップしましたが、歓迎され、お世話になり、ロータリアンのこころの温かさに接しました。国分寺RCでは、ボーリング、國分寺まつりなどいろいろなことがありました。忘れることの出来ない思い出です。私の喜びを、今度は娘に伝えたいと思い、私の後、娘を入会させて頂きたいと思います。娘はまだ若く不届きな点が多いと思いますが、どうぞ育てあげて、長く続けられるように私は、心から祈っています。皆様、本当に有難うございました。

入 会 式

○新 入 会 員 紹 介：濱 仲 会 長

中村早苗さんは、清水さんの次女で、現在、清水開発㈱の取締役であります。お母様と三人の姉妹その他の従業員達と頑張っております。私と同業であります、お店は雰囲気がよくて、気持ちよく、相対してくれる素晴らしい会社だと思っております。大変若いメンバーであります、これからも、仲良く付き合っていければと思っています。

○バッジ及びRC綱領等の贈呈：濱仲会長から中村新会員へ

○新 入 会 員 の 挨 拶：中 村 早 苗 新 会 員

中村早苗と申します。この度、入会を承認され、この場に立たせて頂いておりますけれども、古くから知っている方々ばかりなので、少しほっとしております。少し前から、RCへのお誘いを頂きまして有難うございます。ずっとお断りしていましたが、先日の國分寺青年会議所の40周年記念式典の時に、濱仲会長が言われた言葉が残っていて、そこで、自分の中で、ロータリーは楽しそうだなと思うようになったのが、きっかけです。また、母も長くお世話になっていましたが、気が付くとバトンタッチのような形で、勝手に母が決めておまして、商工会女性部の方も、母がずっとやっておまして、気付いたら、娘を入れるから私辞めるというみたい、そう云う感じだったので、また来たかなと云うことです。母より経験不足と思いますが、いろいろこれからも、ご指導頂ければと思います。年齢は、43歳です。私は、出来ることは、まだ分らないですけども、若い方に声を掛けて、仲間を増やしたいなということを考えています。これからも頑張りますので宜しくお願いします。

○米 山 功 労 賞 の 伝 達 式

米山功労賞が高橋幹事から濱仲会長に手渡されました。

幹 事 報 告

高 橋 幹 事

【1】国分寺RCの行事予定：

- 11月1日(火)：中村早苗会員入会式、
鈴木ロータリー財団委員長の卓話
11月6日(日)：移動例会(國分寺まつり)
11月8日(火)振替休日
11月15日(火)東京白うめRCとの合同例会
11月22日(火)佐藤文秀先生の卓話
11月29日(火)移動例会(㈱リオン職場見学)
【2】多摩中グループ活動予定
11月8日(火)第5回多摩中グループ協議会
11月14日(月)RI2750地区新会員セミナー
【3】国分寺市並びに関連団体活動予定
11月3日(木)平成23年国分寺市表彰式典
11月8日(火)国分寺市「社会を明るくする運動」推進委員会



委 員 会 報 告

出 席 委 員 会

手 塚 出 席 委 員

会員数：42名 免除：4名
メーキャップ済み：0名
欠席：7名 出席率：81.6%
＜前々回の修正＞ メーキャップ 1名
欠席 3名 出席率 89.5% → 92.1%



ニコニコボックス

山 内 親 睦 副 委 員 長

濱仲会長・高橋幹事：鈴木義明ロータリー財団委員長を歓迎してニコニコします。卓話よろしくお願いします。木口会員：地区R財団委員長鈴木様の卓話に感謝してニコニコします。大会会員：鈴木義明ロータリー財団委員長のお話をうかがえる幸運に感謝してニコニコいたします。北田会員：中村様入会おめでとう。清水玉江さんも一緒に、残って欲しかったですね。お陰で平均年齢がグッと下がるので歓迎します。小椋会員：清水玉江さん、沢山の思い出、有難う！これからも明るく楽しく誠心誠意ロータリー精神で頑張ってください。中村早苗さんの入会を歓迎します。山内会員・篠原会員：今日は清水玉江会員と、娘さんの早苗さんの入替と云う、喜んでよいやら悲しんでよいやらの私達の心境なのです。玉江さん有難う。早苗さんこれからよろしくと云う事でニコニコします。馬場会員：先月、発行されました週刊誌「サンデー毎日」に当社の紹介記事が、1頁にわたり掲載されておりますので機会があれば、ぜひご覧下さい。又、当社が、販売しております「緊急地震通報装置」「からくり時計」が、日本経済新聞はじめ情報誌等で紹介されておりますので、ご興味のある方、お問い合わせ下さい。



11月の記念ニコニコ



富永会員・倉島会員・山内会員・大平会員

社会奉仕委員会

渡辺委員長

国分寺まつりについてご案内:例会扱いなので、全員参加をお願いします。11月6日、会場監督・親睦・社会奉仕委員は8時30分までに集合。午前参加の方は9時まで、午後参加の方は12時までに集合して下さい。予定として、①ロータリー活動のパネル展示、②綿菓子の販売、参加者には、景品プレゼント(先着100名まで)。当日は全員、国分寺ロータリージャンパーを着て集ってください。



卓

話

○講師紹介:木口財団プログラム委員長

鈴木義明様は、所属は東京武蔵国分寺RCで、(株)ゼルコバ商事の取締役顧問をされております。RC暦は19年になります。自クラブでは親睦活動委員長、クラブ幹事及び会長等の要職を務められました。地区での活動は2000年7月以降今日に至るまで、ほぼ毎年役員を続けられております。R財団奨学委員会の副委員長、委員長、R財団補助金委員会の副委員長、委員長、R財団副委員長、地区幹事等をおやりになり、今年度は地区R財団委員長兼未来の夢計画実行委員長兼復興支援地区委員を務めておられます。R財団の変革について、いろいろお話を聞かせて頂けると幸いです。



○ロータリー財団委員長 鈴木義明様
東京武蔵国分寺RCから出向しておりますロータリー財団の鈴木義明です。どうぞ宜しくお願いします。地区の問題点として、3つの問題点がクローズアップされております。一つは、皆様から大事に頂いた義捐金問題があります。もう一つはこれを大きく震災復興に使うということで、東日本の震災関係にあります。もう一つは、今日、話させて頂く財団のことで、財団未来の夢計画が2013~14年度にスタートします。大きく変わります。実は、私共ロータリー委員のロータリー会議として、年間どんな形で、どのように動いているかと云うと、



地区における人頭分担金の約12,500円、それからRIの分担金として49ドル、あとは、毎年100ドル寄付を頂いている。それから米山寄付と云うのを、1万円位収めています。そう云う寄付をしながら、私達は奉仕をやっているのです。この辺の事をご理解頂きながら、東日本復興委員会の方を少し触れさせていただきます。本年度の3月15日に、地区の方から、義捐金を頂きたいと云うことで、各クラブさんから、義捐金を納めさせて頂きました。ところが、当然ながら義捐金なので、即には被災者のところに行くのかと思ってい

たら、まったく違う状態で、未だ、ガバナー会にこれが収まっていたと云うことです。この金額は、何と1億1,000万円位でした。おかしいじゃないかと、今年度の片倉ガバナーが議長でありながら自ら、この金を取り崩すと云うことで返還を求めまして、当地区は1億256万7,000円、この金額を戻して頂いたことは、皆さんガバナー訪問の時、聞いたと思います。さて、この金額をどう云う形で公平に分担して、被災地に速やかに送ろうかと云う話を、させて頂きましたが、先程、方針が決まったと云うことです。皆さんからの義捐金の2分の1を皆さんのプロジェクトに対して還元させて頂こうと云うことで決まりました。このプロジェクトに必要な金額を申請しますと、大体プロジェクトの2分の1を認めて頂きます。仮に600万円のプロジェクトをしたいと、高圧洗浄機を送りたいと云うことで、600万円の予算を組んで申請したところが、600万円出ないで半分の300万円しか出なかったと云う場合があります。そうすると、残り300万円どうしようかと云う部分があります。この部分に関して、先程の義捐金300万円の中、150万円が無条件で出てきますので、残り150万円をどうするかと云うことになります。例えば600万円、目一杯やらなくても450万円のプロジェクトと縮小した考えも出来ます。こう云う形のものを、多分明日以降からの受付開始と云うことになると思っています。この金額を優先的にお使い頂きまして、これが終わった以降、B資金という部分で皆さんのプロジェクトを支援しようとする形で話がまとまった次第です。そう云う面では、この金額、まだまだ潤沢にあらうかと思っています。と言いますのは私の方で理解しているのが、日本委員会、復興委員会のお金を使って、2750地区は、1,600万円を既にプロジェクトとして頂いてやっています。従って、残金が先月末の時点で約1億8,000万円残っていると云うことから、社会奉仕委員会の皆様、是非ご検討頂きながら、プロジェクトに参加されてはと思っています。被災地では、まだまだ、いろんな形で物資が足りないと云う声を聞いています。私も先々週に地区の復興委員会の方で現地に行って参りました。いろんなプロジェクトを要求されましたけれども、有る袖と無い袖があります。なかなか、思うようにいかない部分があります。あまり大きい部分でなく、身の丈に合った部分が、やはり一番望ましいと思います。さて、ロータリー財団の話ですが、今、実は私共、先程紹介頂いたように、3つの部分を私が担当させて頂いております。ロータリー財団の委員長と未来の夢計画の準備委員会、ここの、未来夢計画とは何なのかと云うことで、これを強調して、お話をさせて頂きたいと思っています。なぜ、財なか

団はこの時期においてこんな大きく変革をさせなければいけなかったのか、あまりにも過去に於いてプログラムが多すぎる。もっと簡素化させようではないか。今ある14のプログラム、人道的な部分、教育的な部分、いろいろあります。この14のプログラムを消化させるために、わずか手続きだけで、5億も6億も掛かっているのが現実であります。この辺を簡素化しようと、財団は「未来の夢計画」に向けて、2013～14年度から実行に移し、変わって行きます。この変わり方は大きく2つあります。グローバル補助金と云うものと新補助金と云うものを生かします。今までは、国際親善奨学生と云うのがありました。こう云うものは全てこの新補助金の中で、地区で考えなさいと、ある意味では、自クラブで考えなさいと云う言い方によって変わって来ました。これも含めて、全て簡素化し、財団の職員は現在600名いますがこれの削減を図りたい。もう一点は、大きくロータリーの存在を知らしめたいと云うことです。特に、3万ドル以上のプロジェクトに関しては、どう云うことが要求されるか、例えば、アフリカで井戸を掘りました。井戸を寄贈しました。と云うのがありますが、井戸を掘っても、井戸が壊れたらどうするのか。と云う部分、持続性のものでなければならない。つまり、井戸を掘っても、井戸を直せる方法であったり、井戸を掘る方法であったり、こう云うものがキチットしたプログラムでないと、通過はしないと云うことになりました。単純に、2013～14年度から変わりますと云うお話をさせて貰いました。しっかりと簡素化したプログラムをやりましょう！と、ある程度、権限を地区なり、クラブなりに委譲しようとするのが大きなポイントかと思っております。是非、この辺の部分に関し

ては、今年の12月9日、来年のガバナー補佐の研修にこれを取り入れております。来年早々2月頃には、再来年の財団委員長もしくは、会長、幹事さんをお呼びしまして、お話をさせて頂きたいと思っております。プログラムの申請は、事前から準備し、7月1日に入ったらすぐ着手出来るような形で実行して行きたい。従いまして、皆さんのプログラムは、例えば実行する来年だったならば、今年の暮れ頃には、各委員長さんが、来年のプログラムをどう云う形でやろうかと！と云う形にならなければいけない。そのような形になります。これから、未来に向けて大きく変貌すると思います。ロータリー財団と国際ロータリーは違うということをお話しますと、RIとはまさに国際ロータリーです。我々は、TRF、ザ・ロータリー・ファンドと言って、正式に云う名前は、国際ロータリーのロータリー財団と云う正式名称です。ロータリー財団は略して呼ばれています。財団は、皆さんから寄付を頂いて、寄付で運用しています。決して、RIのように、人頭分担金を課し、お金を貰って運用しているではありません。従って運用益、頂いた金をいろんな形で投資をし、その運用益で賄った上で、財団が運用しています。このロータリー財団自体は、94年前に出来まして、2017年この100周年に向け「未来の夢計画」の本仕上げに入って行こうと云うことであります。私自体も再来年に至りましては、3年間財団委員長をやらせて頂くことになっております。今月は財団月間です。是非寄付を宜しくお願いします。寄付なくして、今の話は成り立たないですので、是非100ドルと云わず、100ドル以上の寄付をお願いいたしまして、私の話を終わらせて頂きます。

第2205回 移動例会報告

— 11月6日 —

国分寺まつり

於：武蔵国分寺公園



国際ロータリー 第2750地区 多摩中グループ 東京国分寺ロータリークラブ

会長 濱仲 幸弘 幹事 高橋 正典
会報委員長 小向 將介 副委員長 山内 千枝

事務所・例会場 東京都国分寺市南町 3-20-3 国分寺ターミナルビル 8階
Tel.042-322-6480

編集・印刷 (株)スプリングフィールド 国分寺市本町 3-8-12 Tel.042-320-5601
URL: <http://www.tokyokokubunjrc.org/>